

【協働の評価】

協働で進めて いきたい理由	子育てや介護等により退職した女性が再び働くにあたっての支援を目的としており、地域の女性の働く環境を良くしたいという目的で活動をしている団体と協働で実施することにより、当事者目線で企画運営ができるため。
協働の 成果・効果	【協働の成果目標】 セミナー参加者の満足度 参加者の 80%が満足（よかった、まあよかった） 【達成できた点】 ・事業実施後のアンケートに回答した参加者のうち、満足・やや満足は 94.4% となり、満足度は達成できた。 ・今年度の参加者は、キャリア断絶からの復職ではなく、環境や職種など『自分らしく働く』ことに対して自らアクションを起こしたいと願う方々が中心だった。ライフステージの変化と働くことを再定義し、自律的にキャリアを切り拓こうとする高い意欲に対し、真摯に伴走し、その一歩を後押しできたことには大きな意義があった。 ・企業説明会参加企業への就職はかなわなかったが、セミナーをきっかけに数名のキャリアに変化があった（セミナー終了後、ヒアリング） ⇒横浜企業へアルバイトとして勤務開始 ⇒取得資格を活かし、鎌倉市内の病院へ再就職（内定） 【達成できなかった点】 事業成果の目標として掲げていた目標参加者数が未達成となった。 ・セミナーの参加者 15 人⇒7 人 ・再就職を意識して活動を始めた人もしくは就職した人が5 人⇒4 人 ※企業訪問参加者：4 名（3 社） セミナーを通じて就職や転職した方はいなかったが、自身のライフステージに合った働き方を実現するために、セミナー後に会社見学に参加したり、企業へ応募する等、前向きな行動の変化が見られた。
相互評価 ※上手くいったこと 問題点・課題など	【事業実施前】★3 ○市 ちらしの配架や SNS や HP、広報等での周知を図ったが、ターゲットへのリーチに改善の余地があり、参加者数を定員まで集めることが出来なかった。事業内容まで伝え、セミナーへの興味を高めるための改善策を検討する必要がある。また、託児をボランティアへ依頼したが、人員確保が直前までできない回もあり、確実性に欠けていた部分は、解消する必要がある。 ○団体 ちらしのデザインを一新し、ターゲットに沿う形に工夫をした。 また、プログラムの構成として、お金の知識、働くマインド、企業との出会いという構成にすることで、全 4 回を経て自己変革とキャリアの具体化を狙った。その他、企業説明会参加企業について、参加者と企業側のニーズを鑑みることが重要であるため、企業側への期待値調整を行いつつ、募集職種は事務・営業・ブルーカラーと、参加者の多様な適性に応える幅広い選択肢を提示した。 【事業実施中】★4 ○市 受付、参加者への事前案内などは、団体の協力により、事務担当者と連携を取り処理することができた。 また、令和 6 年度の反省から例年よりも短い 2 か月間の短期集中プログラムにすることで、参加者のモチベーションを保ちながら効果的に事業を実施することができた。 また、ペアワークやグループワークでは最初は様子を見ながらワークをこなしていた参加者が、運営スタッフや講師によるフォローにより、徐々に積極的に意見

	交換がなされ、互いにモチベーションを高め合う環境が作られていた。 ○団体 参加人数が少数だったため、参加者同士のコミュニケーションを充実させることができた。（ランチ会などもはさみながら、それぞれの悩みや目標などを共有する機会を作った） 企業説明会参加企業に向けては、事前打ち合わせを丁寧にし、その企業の魅力が参加者に伝わるような工夫についてサポートした。 【事業終了時】 ★5 ○市 結果として就職や転職をした方はいなかったが、参加者がセミナーの企業説明会を通して、セミナー終了後に実際に会社見学に行くなど、前向きな行動に繋がったことは、ひとつの成果であると考える。その結果、2026年4月に2名の就職に繋がった。 一方で、セミナー終了後に市の就労支援や合同就職面接会に上手く繋がれなかった点については、フォローアップ体制をどう構築していくか等を検討していかなければならない。 ○団体 2026年度も集中型（2か月）プログラムにて実施予定。 2025年度の参加者の属性を踏まえて、キャリア断絶以外のゾーンに対してもリーチできるような広報戦略を検討したいと考える。 また、企業説明会においては、市の合同説明会へつなげる動きを行う中で、就職先の選択肢を増やして提供できると期待している。
今後の展望	セミナーに参加して終わりではなく、参加者同士の継続した交流や市のフォローアップ体制などを構築し、1人でも多くの就労実績につなげるようにしたい。